

科目名称	在宅作業療法
授業コード	AE270
英語名称	Occupational Therapy in Home Health
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	竹嶋 理恵
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	在宅生活に障害がある人または障害をきたすおそれのある人に対する、訪問系作業療法・通所系作業療法の基本的な知識と具体的な援助方法を学習する。また、予防作業療法と予防に通じる健康管理のあり方について学習する。 本講義の修了後、学生は訪問系作業療法や通所系作業療法の実践の場に応じた在宅作業療法・予防作業療法と健康管理について理解し、目的と意義・関連した評価・アプローチの方法について説明することができる。
科目に関連する実務経験と授業への活用	本科目では、在宅作業療法に従事した実務経験のある教員が、作業療法の実際の現場で評価・アプローチをどのように行っているか、作業療法の実務経験を活かして講義する。
到達目標	1) 実際の場面における作業療法士の役割の中で倫理的配慮について理解することができる。 2) カリキュラムポリシーに掲げる「医療・福祉・保健・教育の幅広い領域への健康支援のために実践能力を備えた人材を育成する」が実現するよう、在宅作業療法の基本的な知識を身につける。 3) 訪問系作業療法や通所系作業療法の実践の場に応じた在宅作業療法・予防作業療法と健康管理について目的と意義を説明できる。 4) 在宅作業療法に関連した評価・アプローチの方法について説明することができる。
計画・内容	1) オリエンテーション / 在宅作業療法の基礎知識 2) 訪問系作業療法の支援方法 3) 通所系作業療法の支援方法 4) 在宅作業療法に必要な倫理と態度 5) 在宅におけるフィジカルアセスメントと健康管理 6) 在宅作業療法の実際（運動器疾患・事例検討） 7) 在宅作業療法の実際（運動器疾患・報告と討論） 8) 在宅作業療法の実際（脳血管疾患・事例検討） 9) 在宅作業療法の実際（脳血管疾患・報告と討論） 10) 在宅作業療法の実際（神経・筋疾患・事例検討）

計画・内容	<p>11) 在宅作業療法の実際（神経・筋疾患・報告と討論）</p> <p>12) 在宅における医療管理</p> <p>13) 在宅におけるリスクマネジメント</p>
授業の進め方	<p>1) スライド、配布資料、動画等を用いて講義を行う。</p> <p>2) 講義の内容に合わせた演習を行いながら授業を進める。</p> <p>3) 具体的な支援方法について理解を深めるために、随時課題を与える。</p>
能動的な学びの実施	理解を深めるために、必要に応じて演習と発表を行う。
授業時間外の学修	<p>授業後に配布資料を確認し、講義ノートを整理すること。</p> <p>そのほか、授業の中で提示された課題を実施すること。</p> <p>合計60時間程度</p>
教科書・参考書	<p>【教科書】 特になし</p> <p>【参考書】 長崎重信監修 作業療法学ゴールド・マスター・テキスト「地域作業療法学」 メジカルビュー社 2016年</p>
成績評価方法と基準	授業中に提示する課題50% + 定期試験50%
課題等に対するフィードバック	<p>学生からの質問や発表の都度コメントをします。</p> <p>授業の中で、提出された課題へのフィードバックをします。</p>
オフィスアワー	Campus Squareを参照
留意事項	本科目は必修科目です。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomによるオンライン授業を実施する。</li> </ul> <p>成績評価方法と基準</p> <p>授業中に提示する課題50% + 定期試験に代わるレポート50%</p>